

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	競輪場（職員）	来客数の動き	・発売額に大きな変化はないものの、入場者数は増加している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客の購買意欲が高まっている。単価の大きくない商品が良く動いている。
	やや良く なっている	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・近くの量販店が開店し、新規の客が少しずつ増えている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数及び販売量が上向いている。気候も安定し、雑貨・衣料も好調である。特に今月はセールも30日からスタートするところが多く、売上は前年を大きく上回る。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・家族での来店が増えており、富裕層の来店も増えている。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・生鮮食料品の動きがかなり良くなっている。	
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店では前年比106.7%、コンビニエンスストアは同99.5%、ローカルスーパーは同106.3%と数字的には良かった。	
	家電量販店（店員）	単価の動き	・40型以上の薄型テレビや大型冷蔵庫、ドラム式洗濯乾燥機等の高額商品が目に見えて売れ出した。蒸し暑いのでエアコン等もかなり動きが出てきた。	
	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・昨年、一昨年に比べ、昨年比120%の動きがあるので景気は上向き傾向である。	
	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊・レストラン・婚礼・宴会すべての部門で前年を大幅にクリアしている。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・団体客を中心に動き始めた。個人客も国内・海外共に前年を超えている。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・梅雨時期ということもあるが、例年よりタクシーの利用者は増えている。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体利用、個人旅行共に前年並みに推移している。	
変わらない	商店街（代表者）	競争相手の様子	・梅雨も上がり、ぼちぼちと来客数が増えてきた。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・われわれの商圏内では夜遅くまで、若しくは24時間営業しているコンビニが多く、商店街は来客数が増えない。またタイムサービス等で商品の単価を落として客のニーズに合わせているため、厳しい状況である。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・果物に関しては2、3か月前からあまり動きも変わらず、高額商品が出にくい状況にある。	
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・店舗として大きな販促策を打ったときは、それなりに効果があるが、それ以外では積極的な購買はみられない。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・人形展等の記念文化催事が好評で、全店の入店促進に貢献した。客は物主体から心や文化、教養催事への要望が強くなっている。ただし、買上にはつながらない。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・セールに入っても積極的な購買がなく、客は吟味をして購入している。	
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・価格並びにサービスの内容を吟味される方が多く、必要のない商品についての反応は非常に弱い。客の消費に対する慎重さ、堅調さはより強固な姿勢になっている。	
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・下降線をたどっていた来客数が、月初からの好天と限定品や店外催事などにより、昨年実績を超えて推移している。売上については今一步ではあるが、先月、先々月と比較すると若干好転の兆しがかがえる。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月は前年比101～102%となった。クリアランスセールの時期が前倒しになったことが要因である。婦人、紳士衣料関係の動きが中盤から後半にかけて悪かったが、前年より催事に力を入れたため、前年実績を上回った。来客数は前年比99%で推移している。	

スーパー（店長）	販売量の動き	・好天にもかかわらず、既存店舗の売上の伸びが良くない。特に単価と買上点数は前年比数%の下落となった。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、売上は前年と同程度で推移しており、値上げ分が販売価格に反映されてない。販売数量の減少がみられる。
スーパー（店長）	お客様の様子	・衣料品の売上は相変わらず厳しい状況が続いている。食品は必要なものを必要な量だけしか購入されず、安くてもまとめ買いという傾向は見られない。
スーパー（店長）	単価の動き	・夏らしくなり衣料品の売上が昨年に近づいてきた。食料品は販促パターンを休日型から平日型に変更したところ、昨年比98%まできているので、ほぼ3か月前と変わらない。惣菜と生肉が良く、魚が相変わらず厳しい。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・5～6月にかけて来客数が前年割れとなり、客単価は若干前年を上回っているが、買上率が若干落ちている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・必要なものは購入するがそれ以外のものは絶対買わない状況で客単価が上がらず、景気動向は非常に悪い状態が続いている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・6月初めから1週間のキャンペーンを行ったが、梅雨に入り天候も悪く、予定の売上確保は出来なかった。その後も客足は鈍く来客数、客単価共に低下し、前年を大幅に下回る。
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・昨年はタバコの値上げのため買い増しが多かったが、今年は反動で昨年割れである。全体的に客単価が落ちている。
コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・来客数が増加している店舗においても、単価が下降傾向にある。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・例年よりやや遅れて梅雨入りしたが、前半比較的晴天続きで販売状況が先月に続き、好調である。
衣料品専門店（店員）	それ以外	・今月は30日が土曜日なのでクリアランスセールが1日早まり、短月で見ればやや良いという結果になっているが、初旬は非常に厳しかった。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・ヤング婦人服、雑貨、ミセス婦人服の来客数、売上が良く前年を上回っている。婦人服バーゲン是好調な反面、着物の展示会は前年割れ、宝石の展示会も前年並みとなり、全体として前年並みである。雨が少ない分客の出足は好調である。
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・家電関係では薄型テレビが好調で、ほぼ毎月同じ量が出ている。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格はメーカーからの仕入価格が上昇したため、6月も値上げとなった。燃料油はセルフの給油所で購入、他の商品はフルサービスの給油所で購入するなど、客は商品購入先を選別している。
高級レストラン（経営者）	単価の動き	・後半忙しくなり例年と比べると良かった。城下カレイを注文する客が増え、株主総会後の食事等、企業関連の客が増えた。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・社内で客の単価を上げる工夫をした。宴会が増え、少々上向いてきた。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・人が良く動いており、久しぶりに前年より売上が良く、客の様子も良い。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊及び婚礼は好調であるが、地元宴会の利用人員が前年比30%近く減少している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊者数、宴会件数共に伸びが見られない。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・大口小口の団体の問い合わせはあるが、個人の動きが非常に悪い。ただ、単価を下げれば個人も入る。
タクシー運転手	お客様の様子	・乗客数は増えてきたが、単価が低く、なかなか良くならない。
タクシー運転手	来客数の動き	・朝からの乗り込みが大変良く、夜も飲食関係の入出が多かった。売上が全体的に1割くらい伸びた。夜の会社関係のチケットを使う客がぐっと増えてきた。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・有力販売代理店の獲得により、販売量は高い水準を維持している。
通信会社（総務担当）	販売量の動き	・デジタル関係商品の伸びが良い。

	競馬場（職員） 住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子 競争相手の様子	・来場者、購買単価共に横ばいで推移している。 ・市内の物件については問い合わせが多いが、周辺部の問い合わせが少なく、市内の土地の動きが活発である。
やや悪くなっている	商店街（組合職員）	それ以外	・商店街の食品スーパーが急に閉店し、空き店舗が更に増加している。ここ数年空き店舗が埋まらず、シャッターの降りているところがジワジワ増えている。
	一般小売店 〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・梅雨に入ったが雨も降らず暑い日が続いているため、客足も減り、例年に比べると売上は減少している。同じく外販も早々と麦茶になり、売上につながらない。
	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・近隣商店街の空き店舗が更に増えている。特に優良商店街と言われる中心商店街の空き店舗が増えている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・特に婦人服、なかでもミセスを対象にした衣料品の動きが悪い。今年のヒット商品はワンピースだが、ヒット商品がなかなか出ない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比5%減と大きく減少し、客単価も低下を続けている。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・特売企画、大型イベント等を企画してもなかなか売上に結び付かない状況が続いている。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・空梅雨傾向で、気温の高い日が続き、乾麺・つゆ・清涼飲料・発泡酒・アイスクリーム等の涼味食材が好調に動くはずが、大型商業施設・総合スーパー・地場中堅スーパーマーケット等の競合店に客を奪われ、不調である。5倍ポイントサービスデーの効果はあるものの、全体を押し上げるまでには到らず、依然として苦戦している。
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・来客数の変動は大きくないが、客単価・一品単価が下落しており、売上が減少している。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・観光客が減っており、来客数が減少している。
	衣料品専門店	販売量の動き	・来客数は変わらないが、販売量がぐっと減っている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客単価がかなり落ちている。
	衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・今年は梅雨入りが遅く、夏らしさもまだ来ないままに始まった夏セールであったため、まとめ買いが少なかった。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は変わらないが、販売量が前年より減っている。
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・新車の販売台数がなかなか伸びない。
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・例年売れない時期ではあるが、大売出しキャンペーンを行っても、来客数が少なく不調であった。
	一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・今月は農繁期にあたるので、10周年記念イベントとしてバイキングを企画した。ランチバイキングは好調であったが、ディナーバイキングは全く反応がなかった。例年何とか取り込めている少数のパーティが、今月はほとんど無かった。
タクシー運転手	来客数の動き	・少雨であったため、例年と比べてかなり落ち込みが大きい。	
通信会社（業務担当）	販売量の動き	・6月はキャンペーンがスタートし、新商品も出そろってきたが、値ごろ感のある商品が少なく、販売台数は平日はかなり少なく週末もあまり伸びていない。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・梅雨時で日中の雨が多く、キャンセルが増え、前年を15%程度下回っている。客単価は落ちてはいないが、天候の影響と住民税等の社会情勢に対する不安で、娯楽サービスへの出費が抑えられる。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・最近の年金問題等の不安により、高齢者を中心に客の財布のひもが固くなっている。
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・2台以上の車を持っている客は、1台を軽に買い換えている。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年は梅雨に入ってもスーパー、居酒屋関連に落ち込みがなく順調な滑り出しである。ただし大手メーカーの原料肉供給は、アレルギー問題等で依然厳しい状況にある。
		その他サービス業〔物品リース〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・引き合い案件が増加し、受注量も今期一番を記録した。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や引き合い内容に一服感がある。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先が多忙のため、仕様が決まらず生産開始できない受注品が多い。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・電子部品関連、精密機械部品等は、6、7月にかけて総じて好調で、フル操業の状態が続いている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・衣料品と食料品の荷動きが悪くなった。
		通信業	受注価格や販売価格の動き	・発注者の投資が依然として活発で発注量は相変わらず多い。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が下落して、それが元に戻らない。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業員）	それ以外	・飼料の高騰が進んでいるので、厳しい状況が続いている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費動向が悪く、商社の受注関係も特に厳しさを増している。
輸送業（従業員）		受注量や販売量の動き	・少雨の影響で紙・パルプの生産が出来ていない。雑貨関係も通常は飲料を中心に動き出すが、今年は動きが悪い。	
不動産業		受注量や販売量の動き	・売買物件の受託件数が減少している。	
悪くなっている	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・課税出荷ベースで乙類焼酎が前年比98.8%と久しぶりに減少した。	
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業側が積極的に採用し始めた。良い人材には手数料を惜しまずという状況である。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣スタッフが、待機期間のあまりない状態で次の仕事に就いている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前年比1割以上の求人件数である。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	それ以外	・求人数は以前に比べて増加しているが、業種や企業による格差がある。地元最大手の地銀では去年までは女子行員の雇用形態は契約社員であったが、今春の採用者からは全員正社員となり、採用者数も大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・雇用保険の資格取得者数が前年とあまり変化がない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の動きは前年に比べて伸びているが、伸び率も低く一段落している。就職の件数も例年並み、または前年を下回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が3か月連続で下降しており、求人意欲の低下も一部に見られる。
		学校〔大学〕（就職担当者）	求人数の動き	・企業の求人意欲は3か月前も高水準であったが、現在も高い水準で推移している。なお、新卒人材を確保しようとする意欲は、中小企業にシフトしてきている。
	やや悪くなっている	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・派遣需要は、信販系クレジット会社の単発案件や、半導体関連機器の事務派遣需要が落ち込んでいる。業務請負会社は自動車関連で比較的好調に持続している。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数がやや減少傾向を示している。地域的・職種のばらつきがあり、金融系・自動車関連は引き続き需要があるが、人材派遣の主要顧客である情報・通信系、家電販売業で減少傾向となった。
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・この時期は中元、夏期休暇にむけて短期雇用のパート・アルバイト求人が活発になるが、例年に比べ求人数は落ち込んでいる。